

令和 8 年度兵庫教育大学教員研修プログラム

知っておきたい！関西国際空港におけるまちづくりと社会とのつながり

事後アンケートまとめ

開催日：2026 年 8 月 3 日

参加者：24 名（小学校：17 名 中学校：4 名 高校：1 名 特別支援学校：2 名）

定 員：20 名

1. 受講した理由

この講習の受講を選んだ理由としては、講義だけでなく、見学や実習があるという回答が多かった。

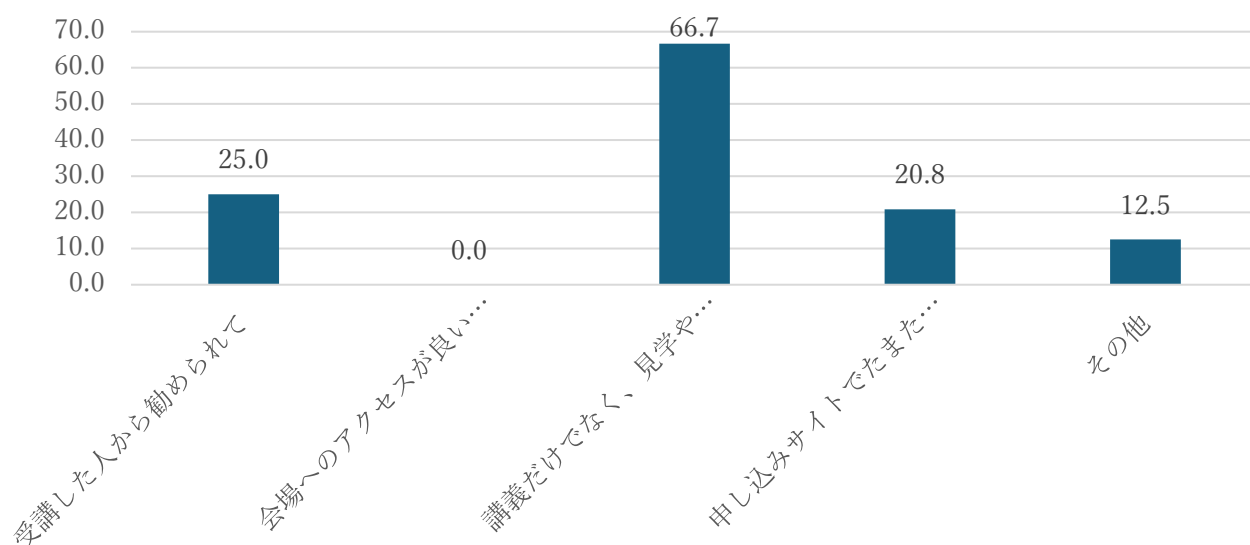


図 1 講習の受講を選んだ理由 (N=24)

2. 講義の効果

A) 現地見学（実体験）による理解の深化

- 「普段は入れない制限区域や、資料だけでは分からない実物（ジャッキアップ、タンカーバース等）を目の当たりにできたこと」に対する感動の声が圧倒的であった。

B) インフラの「多角的な機能」と「維持管理の重要性」の認識

- 空港は「建設して終わり」ではなく、環境保全（音・空気・水循環など）への細やかな配慮がなされ、多くの人々や多様な職種が 24 時間体制でその環境を維持していることに対する理解が深まった。

C) 理科・社会・キャリア教育への直結性

- 「『海の上に建物を建てる』という、子どもたちに伝えたい不思議（知的好奇心）を得られた」という意見があり、学校に持ち帰って授業で語れる生きた教材としての価値が評価された。

D) 他研修（港湾研修）とのシナジー効果

- 数日前に実施された「港湾の研修（7/30 実施）」をあわせて受講した教員が多く、「地盤の話や造成の話が非常に理解しやすかった」「土木の分野の幅広さを実感した」との声が上がった。

E) 「土木」に対するイメージの変化

- 自由記述から、研修の成果として、受講前後の「土木」に対する認識の転換が見えた。

表1 「土木」のイメージの変化

受講前のイメージ	受講後のイメージ（認識の転換）
工事、肉体労働、力仕事	緻密な計算と配慮に基づく「理論とシステム」 「ただの力仕事ではなく、綿密に計算された裏付け（地盤工学、気象学等）の上で成り立っていることが分かった」
建設、建物を造るだけの仕事	環境共生や災害対策 暮らしを支える「総合工学」 環境を最小限に抑える工夫、ゴミや水の循環システムなど、非常に広い分野を支える土台であると知った
自分には関わりのない遠い世界	人々の安全な暮らしを支える「陰の立役者」への感謝 土木の方々のおかげで、私たちは安全に生活できている。感謝の気持ちでいっぱいになった
空港と土木の関連性が不明	空港という巨大インフラに結集する「土木の総力」の理解 土木と空港に関連性があると思っていなかったが、土木の大切さを身に染みて学べた

3. 今後受けてみたい講習内容

直前に令和8年熊本地震があったせいか、防災学習を受講したいという意見が多かった。

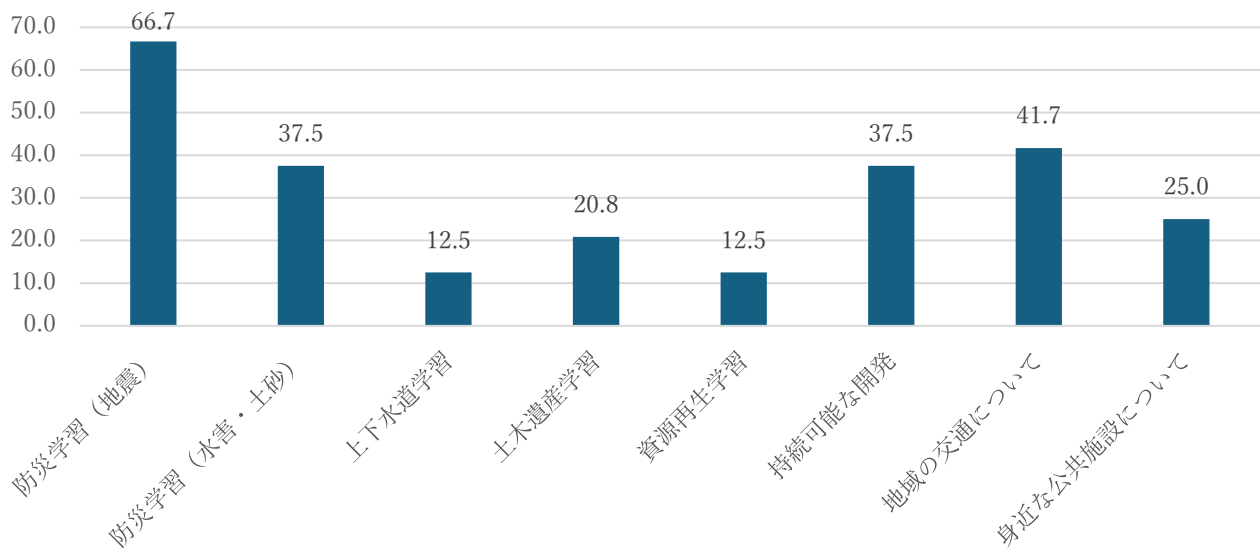


図2 受けてみたい講習内容 (N=24)

アンケートの詳細

受講内容で評価できること（理解できたことなど）

実際に空港の中を見ることができたことです。

普通なら入れないこと路までは入れて、いろんな工夫がみられてよかったです。

空港の成り立ち、設備について

関空ができるまでの流れ

資料だけでは分からないものを見学できたのはうれしかったです。

関西国際空港の歴史や環境保全の取り組みについて理解を深めることができました。

空港の歴史や仕組みについて知ることができました。

お話が分かりやすく、とても面白かったです。

関空が環境面様々な工夫の上作られたこと。また、現在も多くの人によってその環境を維持し、さらにより良いものにしておられることが分かった。

専門的な言葉や難しい内容をわかりやすく解説してくださり、初めて聞く自分にとっても大変わかりやすかったです。

自分が普段生活していて知らない知識が得られた。

関西国際空港は思っていた以上の大規模な工事のもとでできたこと。今も、それを維持するために、様々な職種の方々が仕事をしてくださっていることを理解した。

「海の上に建物を建てる」という子供たちに伝えたい不思議についての知識を得た

空港を作る際、音・空気など様々な環境に配慮して作られていることを知れてよかった。

空港建設の経緯、工夫、仕事

実際に見て学ばないとわからないことがたくさんあった。

実際に見学したり、普段聞くことができない内容を知ることができた。

様々な課題をクリアして、今の関空があることが分かった。

港湾の研修を受講した後だったので、地盤の話や造成の話が理解しやすかった。

関空の歴史や建設するにあたっての環境保全などのことが理解できた

土木や環境現在過去といった多様な視点から関西空港について学べたこと。実際に見学したことで講義に関する理解が深まった。

普段学べない、見ることができない学びがそこにありました。

内容で改善すべきこと（わかりにくかったことなど）

一つ一つの講習の時間が短く、わかりにくいところもあった。

スライド資料がもう少し大きいとうれしい。

研修会場がわかりにくかった（車でのアクセス方法も知りたかった）

もし可能であれば、バスを準備していただきたい（〇〇駅からみたいなの）

今後受けてみたい講義内容や見学したい場所があれば具体的に教えてください。

神戸空港も見学できたらうれしいです。

ダム

六甲山系の周辺

兵庫、大阪で地震や津波でも大丈夫な地域が海側には少ないので、どういう場所が避難に適している

のかなどや街での取り組みについて。空港で環境リサイクルできるなら、市内でも可能なプロジェクトがあれば知りたい。

空港のバックヤードの様な日頃は入れない見れないものを実際に見せてもらっての講義がわかりやすくていいと思いました。

地震に対する先進的な防災・技術について

鉄道。日本のインフラについて学びたい。

橋や埋め立て地の建設方法について

発電所や鉄道関係を見学してみたい

生きているうちに南海トラフ地震が起こると言われているので、地震発生メカニズムや被害の予測、安全な場所などを知りたい。

鉄道や高速道路、橋（明石海峡）の歴史や今後についてなど

今後も普段は入れない場所を研修してほしいです。球場とまちづくりの関連も知りたいです。

「土木」についてどう思っていましたか？また、この講習を受講して変わりましたか？

見方が変わりました。いろいろな側面を持っていることを知ることができました。

土木の方のおかげで私たちは安全に生活できることがわかり感謝の気持ちで一杯です。

仕事が形(建築物など)になるので、立派だと思いました。

肉体労働という印象が強くありましたが、様々な課題と向かい合い綿密に計算されたうえで動いているのだと思いました。

港湾の内容と連動していてよかったです

環境への影響を最小限にするために工夫されていると思いました。

イメージ通りでした。奥深いので、さらに深く知りたいと思いました。

今まで関わることはありませんでしたが、楽しかったです。

建設のイメージが強かったが、環境面なども考慮することも土木の役割だとわかりました。

工事や力仕事のイメージが強くありました。今回の研修を通じて、作業の裏付けとなる理論や作業に関連した人々や業務・概念があることを知りました。

港湾の研修を経て、土木の視点が変わり、いろいろなところを見て、災害について、考えるようになった。空港内の循環システムを知りたい。

すごい仕事だと感じました。ありがとうございました。

自分の思っている「土木」の範囲はごく一部だったんだと知った。

インフラなどが中心のもの→環境も含めてもっと広い分野

建設の印象が強かったですが、環境にもかかわっていることを知りました。

難しいと思っていた。難しさもあるが努力と根性を感じた。

暮らしを支える基礎・基本的に技術ですべての土台である。

「力仕事」というイメージがあるが、それにはち密な計算や配慮があるという理解になった。

7/30の港湾の研修に引き続き受講できたので、土木の分野の幅広さを理解できた。

「工事をする」というイメージだったけど、工事する前にたくさんの下調べなどを行っていること、様々な技術があることを知り興味がわいた。

土木と空港に関連性があると思っていなかったが、この講義を受けて土木の大切さが学べた。

陰の立役者として、土木の見え方が変わりました。